独立行政法人 国際協力機構
筑波センター（JICA 筑波）

大学生・大学院生向け
国際協力理解講座
2025 年度　募集要項

No.1 実務講座（5 日間）
8 月 25 日（月）- 29 日（金）

農業コース（各 5 日間 /4 日間）
No.2　小規模農家の生計向上のための野菜生産技術
No.3　アフリカ地域 市場志向型農業振興
No.4　稲作技術向上
No.5　天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術
※各コースの日程は募集要項参照

06月/12日 木曜日
申　込　期　限

Ⅰ．大学生・大学院生向け国際協力理解講座の概要

1．はじめに

独立行政法人 国際協力機構（JICA）は、開発途上地域等の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定に寄与することを通じて、国際協力の促進並びに我が国及び国際経済社会の健全な発展に資することを目的とする独立行政法人です。

政府開発援助（ODA）の実施機関として、開発途上国に対する技術協力、資金協力など、様々な協力事業を実施しています。JICAは、これらの事業展開を通じて蓄積した情報や人材を活用し、開発途上国や国際協力に対する理解の促進、地域の活性化や国際化の推進、さらには将来的な国際協力の担い手の育成を図るため、開発教育支援事業を展開しています。

2. 本講座の目的

本講座の目的は、講座受講を通じて、開発途上国の現状と課題や国際協力に関する理解を深め、その必要性について考え、国際協力への参加を動機づけることです。

具体的な目的は、コース毎に設定されていますので、プログラム概要票（別紙①）をご参照ください。

3. 対象者

JICA、NGO、民間企業（開発コンサルタント、他）、JICA海外協力隊等による国際協力事業・活動に、高い関心を持つ大学生および大学院生（定員は各プログラム概要参照）

4. プログラム実施場所

独立行政法人 国際協力機構 筑波センター（JICA筑波） 住所：茨城県つくば市高野台３－６

▽JICA筑波へのアクセス▽
https://www.jica.go.jp/tsukuba/office/access.html

5. 応募資格要件

【両コース共通】

- 開発途上国の開発援助に将来的に従事したいと考えていること
- 高い目的意識を持って、プログラムに積極的に参加する意思を有すること
- 本講座を大学の単位として認定する場合、大学の所定の手続きを行っていること

【農業コース】

- プログラム毎で定める英語力を有すること※

※コースごとに英語力のスコアを記載しています（目安として、クリアしていることが望ましいレベルです）。各コースの応募要件については、プログラム概要票（別紙①）をご参照ください。

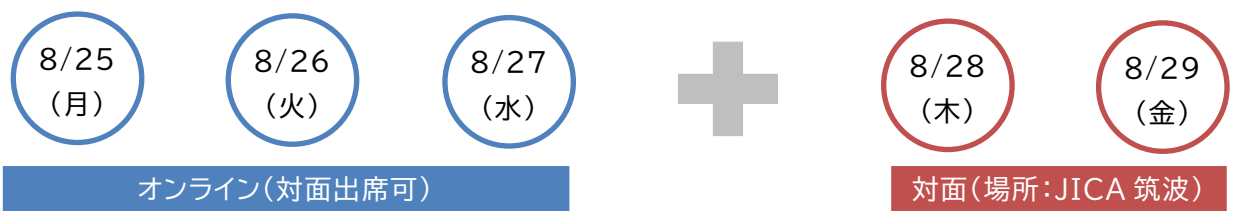
6. 提供プログラム （別紙①：プログラム概要票 参照）

【国際協力実務講座 1コース：プログラムNo.1】

JICA職員をはじめ、開発コンサルタント、NGO、民間企業等、国際協力の現場で働く方を講師とし、講義やワークショップを通じて、国際協力についての理解を深めるプログラム。

※プログラム中、3日間はZoomによるオンライン形式（希望者は対面出席可）、2日間対面形式による開催を予定。
※対面形式の2日間は、ワークショップが中心となるため、受講者全員が対面で参加することを基本とします。

＜「国際協力実務講座」実施日＞



【農業各4コース　:プログラムNo.2～No.5】

JICA筑波が行っている既存の農業・農村開発分野の課題別研修コース（JICA研修員受入事業）に本講座参加学生がオブザーバー参加し、JICA技術研修員と共に各プログラムを通じ、専門的知識や技術を学ぶとともに、開発支援事業の実施運営現場を体験できるプログラム。

＜「農業コース」実施日＞

番号	コース名	実施日（各5日間/4日間）
No.2	小規模農家の生計向上のための野菜生産技術コース	7月22日（火）～25日（金）
No.3	アフリカ地域　市場志向型農業振興（普及員）コース	7月22日（火）～25日（金） ※希望者は8月20日（水）、9月11日（木）、9月22日（月）も参加可能。
No.4	稲作技術向上（普及員）コース	9月1日（月）～5日（金）
No.5	天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術	9月1日（月）～5日（金）

なお、本講座を受講するにあたっては、各プログラムに関する基本的事項について、以下のホームページなどを活用し、事前学習に取り組むことをお勧めします。農業コースは、専門的知識や技術を学ぶため、特にこの点ご留意ください。受講されるプログラムに事前課題が設定されている場合、受講決定後にその詳細についてもお知らせします。

▽JICAの事業について▽
https://www.jica.go.jp/activities

7. プログラムの評価

JICA筑波では、各プログラム受講者の出欠の確認を取りますが、参加学生の成績評価は行いません。回収した受講レポートは、本人へ返却します。ただし、単位認定の希望を大学に届け出た方で、本講座の事務局にてそれを把握している場合には、大学（担当の教職員）に共有します。なお、本講座の受講に基づく単位の認定等はJICA筑波では行いません。単位付与の有無や手続き等については、各大学にご照会願います。

8. その他

（1）各プログラムには担当のスタッフがおり、参加期間中に受講者をサポートしますので、必要に応じてご相談ください。
（2）受講に必要なテキスト・レジュメは原則、電子データあるいは紙の資料で無料配付します。但し、交通費、宿泊費、実習に必要な資材費などは個人負担となります。また、事前課題が課されているプログラムについては、学びを深めるためにも、各自必ず取り組んでいただくことをお願いいたします。それを前提に、講義が行われます。
（3）受講者は参加プログラム終了後10日以内に、受講レポートを提出していただきます。
（4）来場途中及び受講中の負傷、事故等が発生した場合については、JICA筑波では責任を負いかねます。また、受講生の故意または過失によってJICA筑波又は第三者に損害を与えた場合、JICA筑波または第三者に対してその損害を賠償していただくことがありますので、各自で傷害保険及び損害賠償保険（学生教育研究災害傷害保険等）に加入することをお勧めします。
（5）食事はJICA筑波内のレストランNERICAの利用ができます。
（6）関東圏外から参加する場合など、宿泊を希望する方は、JICAの研修員が宿泊する施設を利用することが可能です（2,600円程度/泊、朝食こみ）。ただし、宿泊の可否については空室状況によるため、受講決定後に希望を収集し、確認が取れた後に通知します。

Ⅱ. 応募方法　他

1. 応募方法

応募者は必要書類を熟読した上で、申込用オンラインフォームに必要情報を入力のうえ送信願います。フォームでの登録が完了すると、お知らせメールがお手元に届きます。

▽申込用オンラインフォーム▽
https://forms.gle/qGg1RyJFwzKJHpvc8

本講座申込や受講に関して監督する大学教員がいる場合は、必ず大学教員の名前、連絡先を正しくご入力願います。大学教員による応募前の事前内容チェック等が必要な場合は、各自申込前に済ませていただくようお願いいたします（下書き用ファイルがありますので、必要な場合にはお問い合わせください）。

6月12日（木）
【23:59】
申込期限

↓

6月20日（金）頃
結果通知

↓

7月7日（月）
提出期限
（誓約書・肖像権承諾書）

2. 応募者の選考と結果通知

提出された書類に基づき、JICA筑波にて応募者の選考を行い、選考結果を申込者本人に通知いたします。なお、単位認定の希望がある場合、フォームにご登録の大学教職員の方の連絡先にも、選考結果をメールでお知らせいたします。

受講決定の連絡を受けた方は、電子署名サービス（オンライン）を通じて、以下の2点を提出していただきます。受講決定後に、事務局から提出依頼をお送りします。

- **誓約書（参考・別紙②）**
- **肖像権使用承諾書（参考・別紙③）**

本講座は毎年多数のご応募をいただいております。やむを得ない事情を除き、受講決定後のキャンセルは控えていただくよう、ご留意願います。

3. 問い合わせ先

JICA筑波国際協力講座運営事務局（担当：山元）
（特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティチュート）
E-Mail：jica_tbic_idcourses@glminstitute.org
T E L：03-6403-0565
所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館5階

※問い合わせは、メールまたは電話でお願いいたします。
※JICAは、本事業の一部事務を特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティチュート及び特定非営利活動法人SALASUSUに委託しています。

別紙 ①：プログラム概要票　別紙② ： 誓約書　別紙③ ： 肖像権使用承諾書